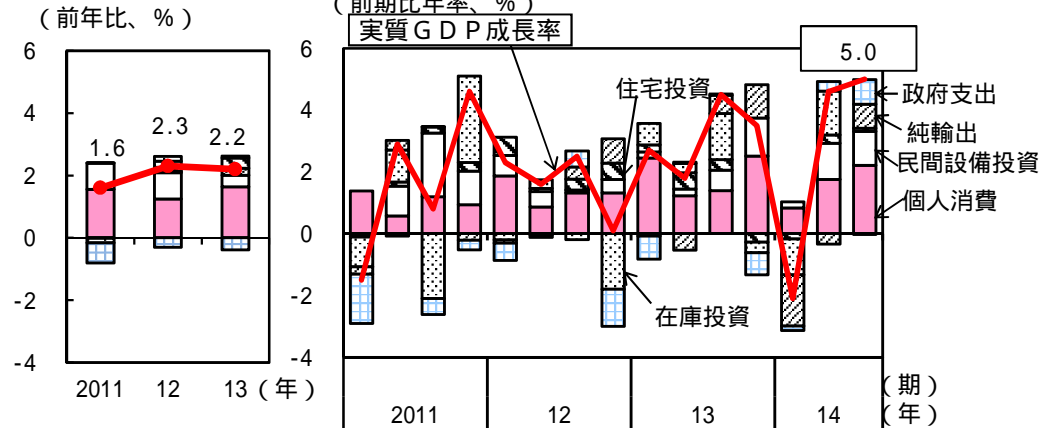


1. アメリカ

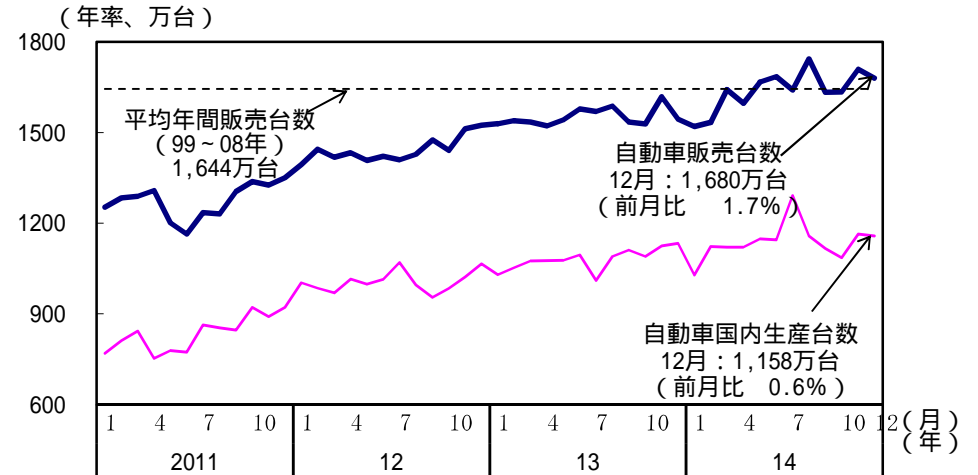
アメリカでは、景気は回復している。

実質GDP成長率（3次推計値）
2014年7～9月期は前期比年率5.0%成長

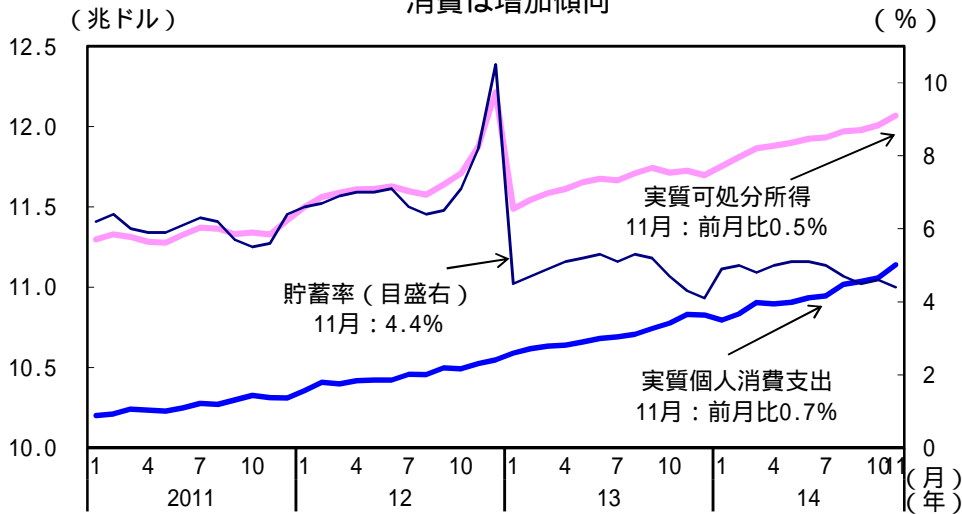


（備考）2014年7～9月期の寄与度（%）は以下のとおり。個人消費：2.2、民間設備投資：1.1、住宅投資：0.1、在庫投資：0.0、政府支出：0.8、純輸出：0.8。

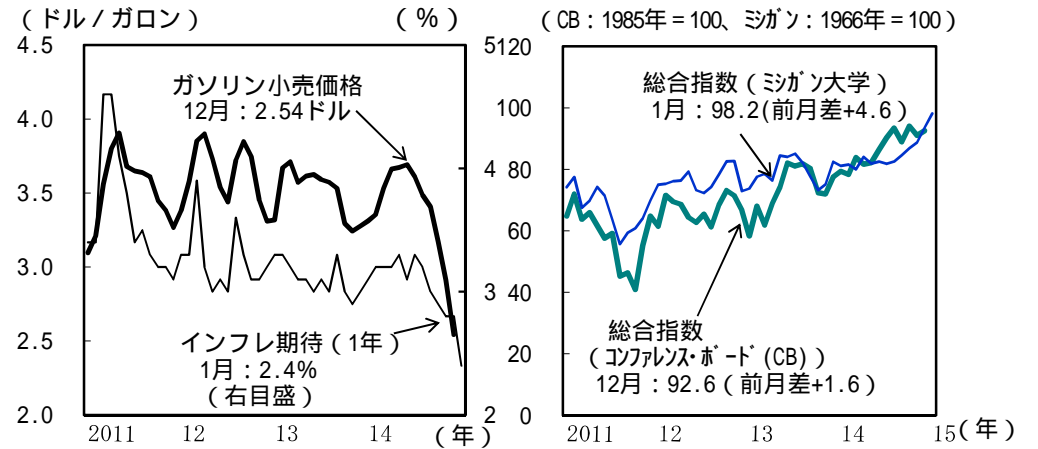
自動車販売台数はおおむね横ばい



消費は増加傾向

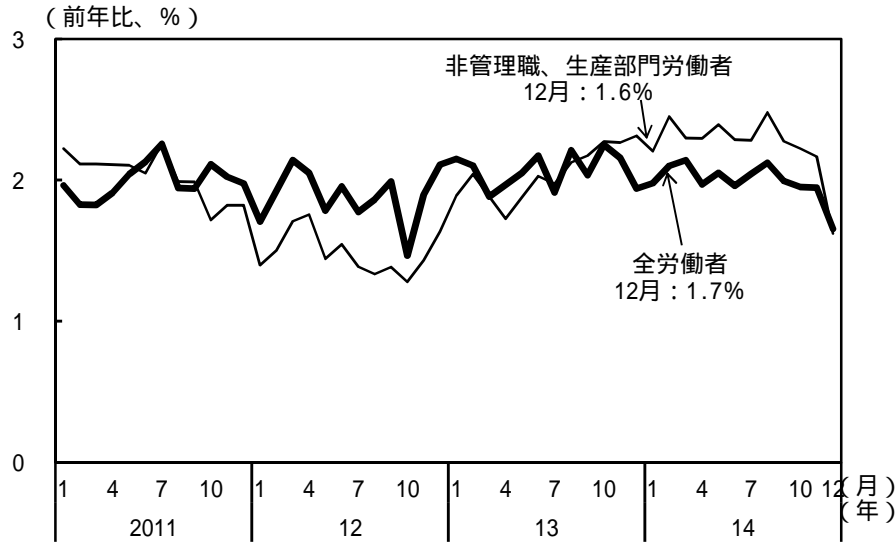


消費者信頼感指数は上昇傾向

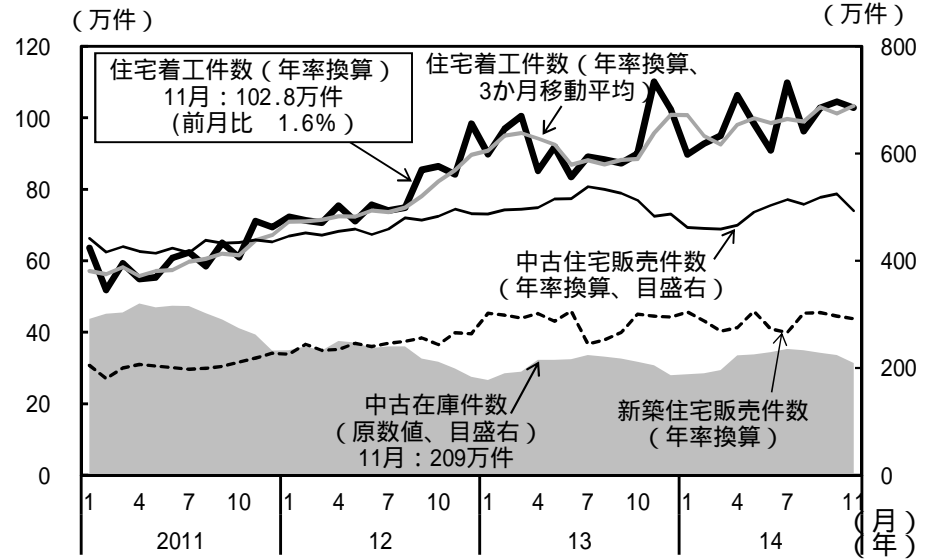


（備考）1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

賃金の伸びはこのところ低下

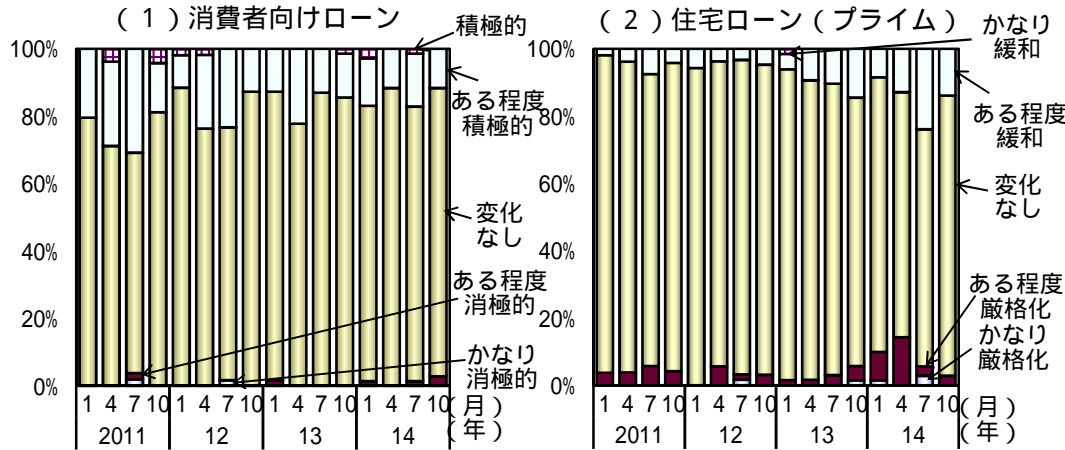


住宅着工は持ち直し



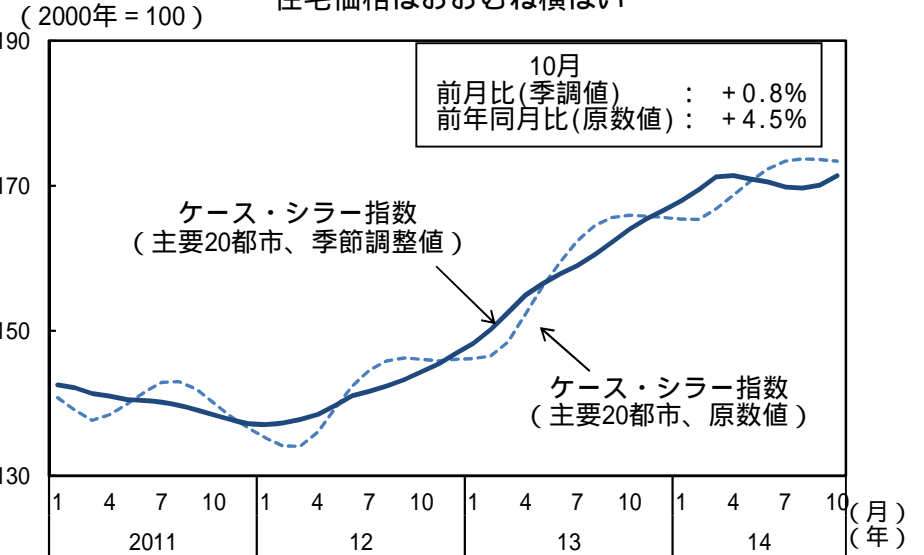
(備考) 14年11月の販売件数に対する中古在庫の割合は5.1ヵ月分。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はわずかに厳格化

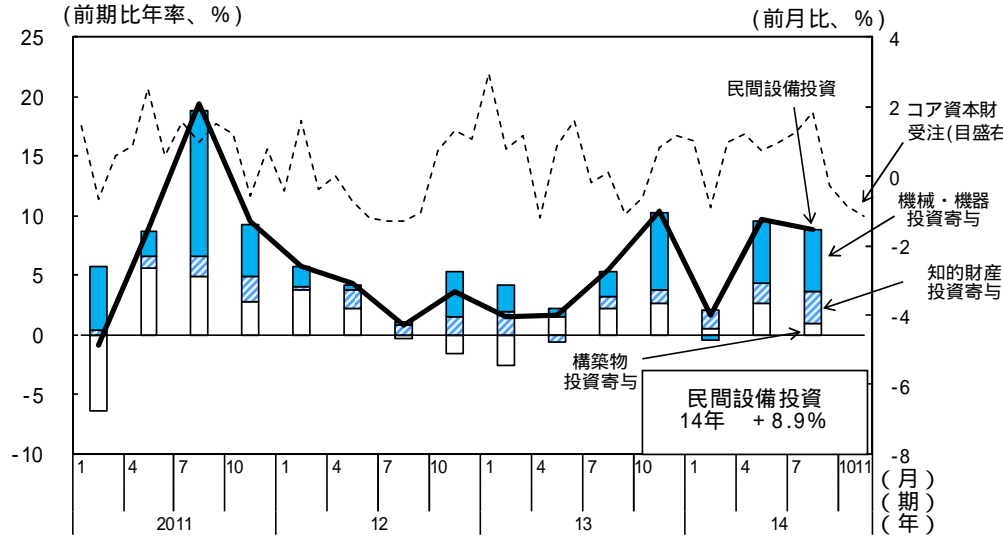


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

住宅価格はおおむね横ばい

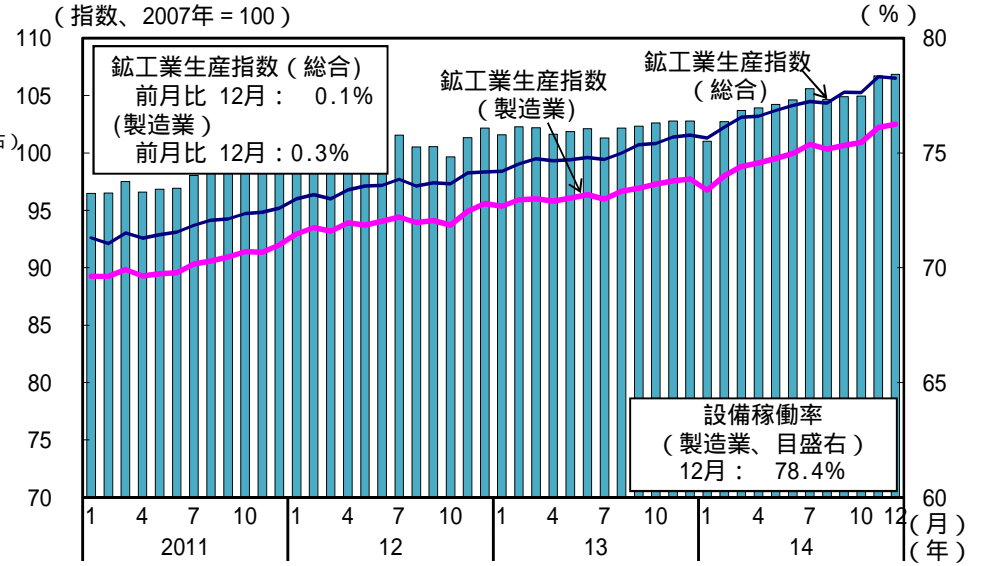


設備投資は緩やかに増加

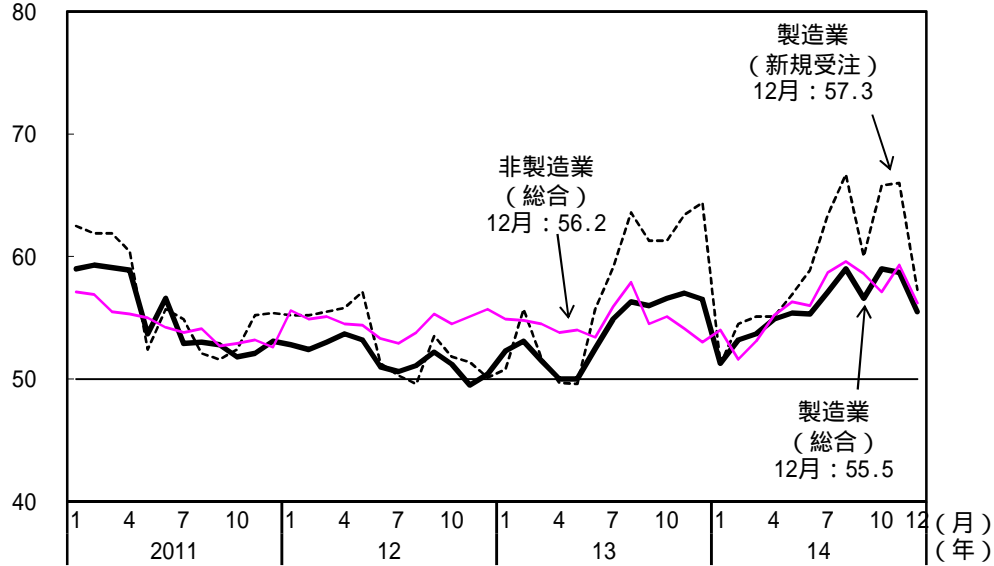


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

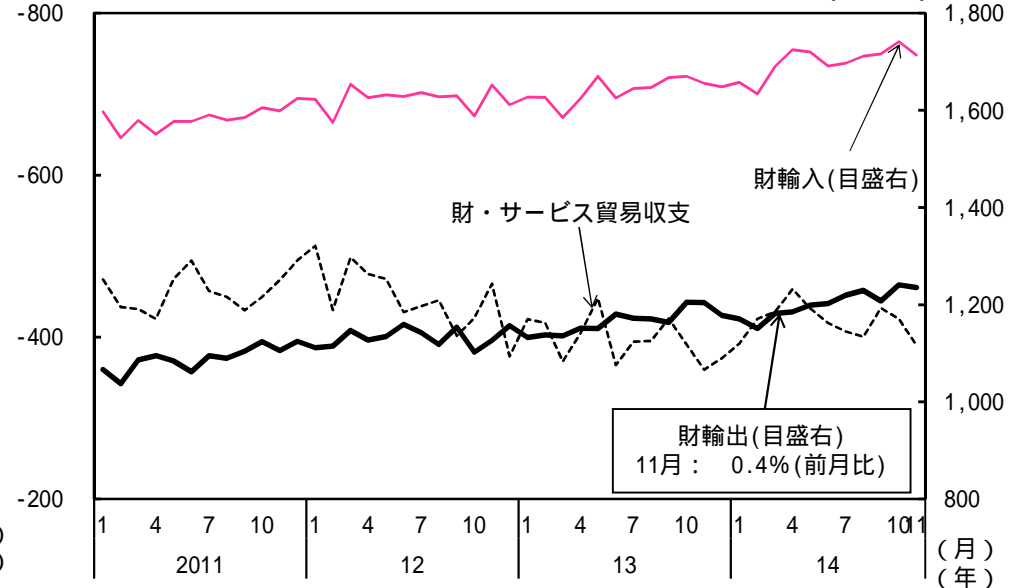
生産は増加



景況指数は堅調に推移

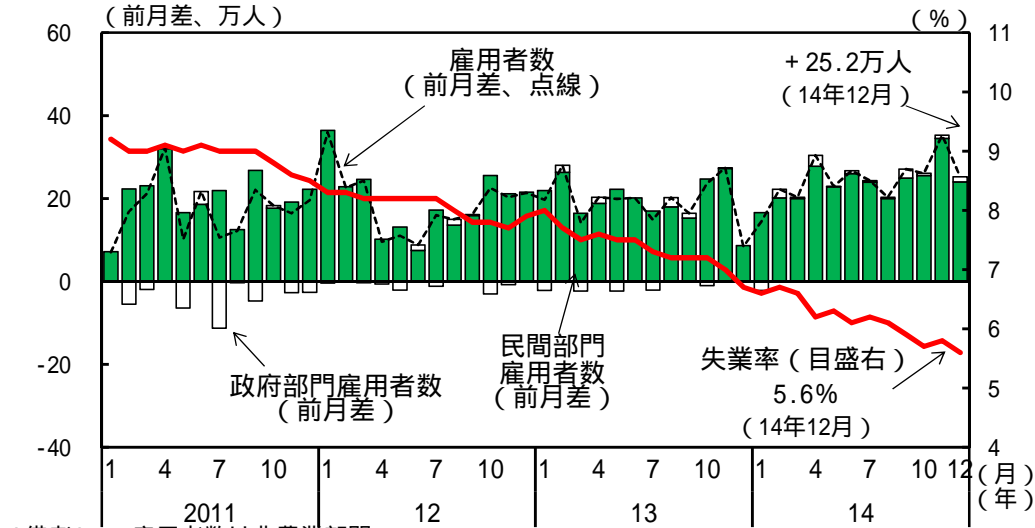


財輸出はおおむね横ばい



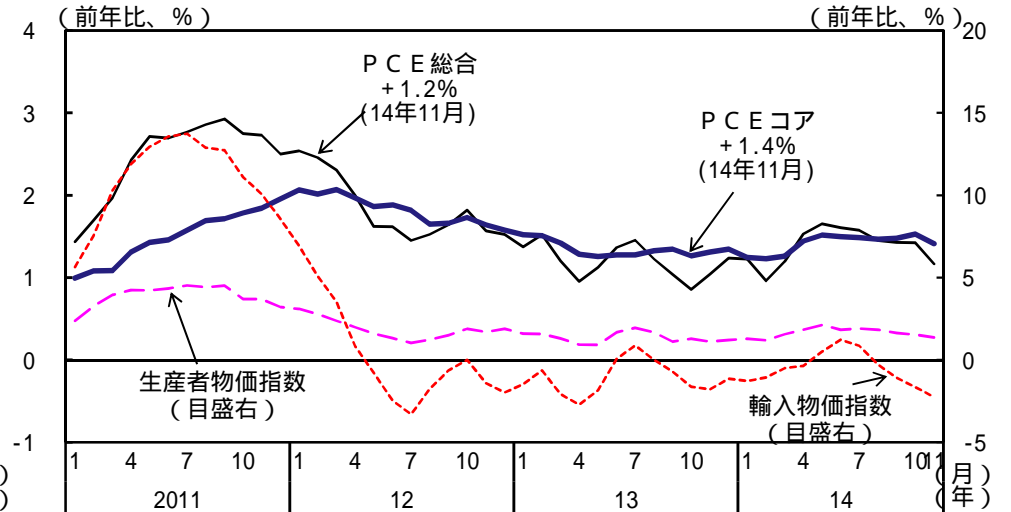
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加しており、失業率は低下



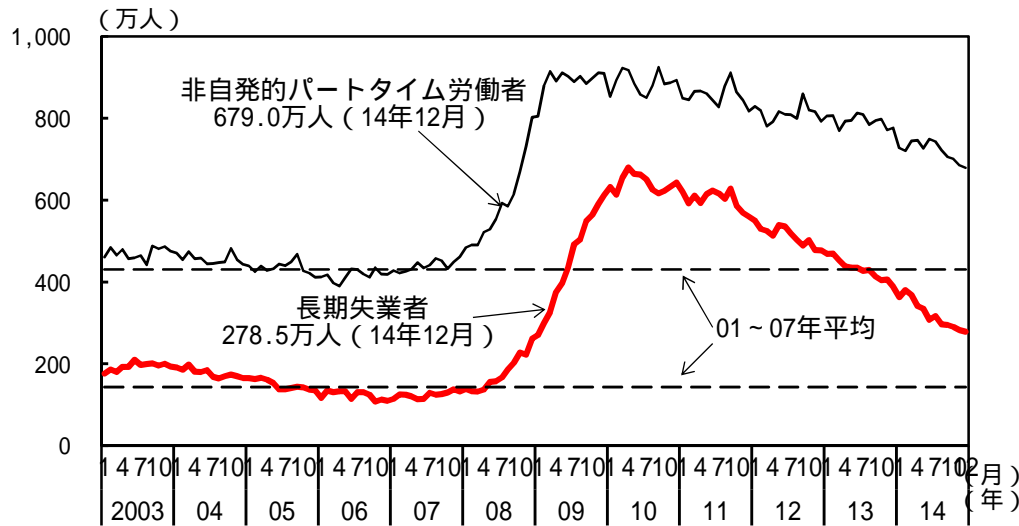
- (備考) 1. 雇用者数は非農業部門。
 2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.3万人、10年以降の雇用者数の増減は +1,066.0万人。

コア物価上昇率はおおむね横ばい



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

長期失業者は緩やかに減少



FEDのバランスシート (資産サイド)

